

# 越生梅林

# ふれあいの里山

## ハイキングガイド



## 概要

---

この本は、作成途中です。

観光案内所(OTIC)、越生駅構内にパンフレットが置いてありますのでそちらの方も参考にしてください。

## 順路

### 越生梅林・五大尊つつじ公園コース

越生駅→春日神社→弘法算観世音→鹿島神社→ニューサンピア埼玉おごせ→最勝寺→建康寺→梅園神社→越生梅林→五大尊つつじ公園→さくらの山公園→越生駅

路線バスを利用されるのであれば越生駅から出ています。「梅林入口」、「ニューサンピア埼玉おごせ」というバス停があります。

ニューサンピア埼玉おごせは、宿泊、入浴、食事ができる施設です。プールやテニスコートもあります。遠方からこられる方はここに宿泊し、ここを起点/終点にし、一回りしても良いと思います。私はちょうどお昼ごろに到着するようにし食事のみの利用をしています。

帰りにゆうパークおごせによって行きたい方はOTICの前から無料バスが出ています。ゆうパークおごせは入浴と食事ができる場所です。建物のすぐとなりがキャンプ場になっているので宿泊をしたい方はミニログハウス、パオ、テントとなります。

### さくらの山公園・ふれあいの里山コース

越生駅→越生神社→正法寺→世界無名戦士の墓→さくらの山公園→医王寺→虚空蔵尊→虚空蔵尊  
さくら公園→ふれあいの里山展望台→ゆうパークおごせ→多門寺→東山神社→武州唐沢駅

[⇒七福神めぐりコース\(東武鉄道\)](#)

[⇒越生付近地図\(ヤフー\)](#)

五大尊つつじ公園

---





五大尊つつじ公園



『イナフクミ様』 五大尊つつじ公園の中腹にいらっしゃる五穀豊穰と養蚕の神様です。つつじ祭りはイナフクミ様の縁日が起源とされます。群馬県の稲含山「稲含神社」から分祀されました。



つつじ 『白琉球』 品種によって花期は異なるのですが、私が行ったときには白いつつじがきれいでした。おしべは10本、上の花びらにクリーム色のソバカスがあります。



ツツジ '花車'



ツツジ '花車' 花びらがリボンのように細長い品種です。



ツツジ 品種名はわからなかったけど橙色の変わった品種ですネ。





五大尊つつじ公園からの眺望

## 越生梅林



ミニSL(上)、越生梅林の出店(下)





# 弘法山観世音

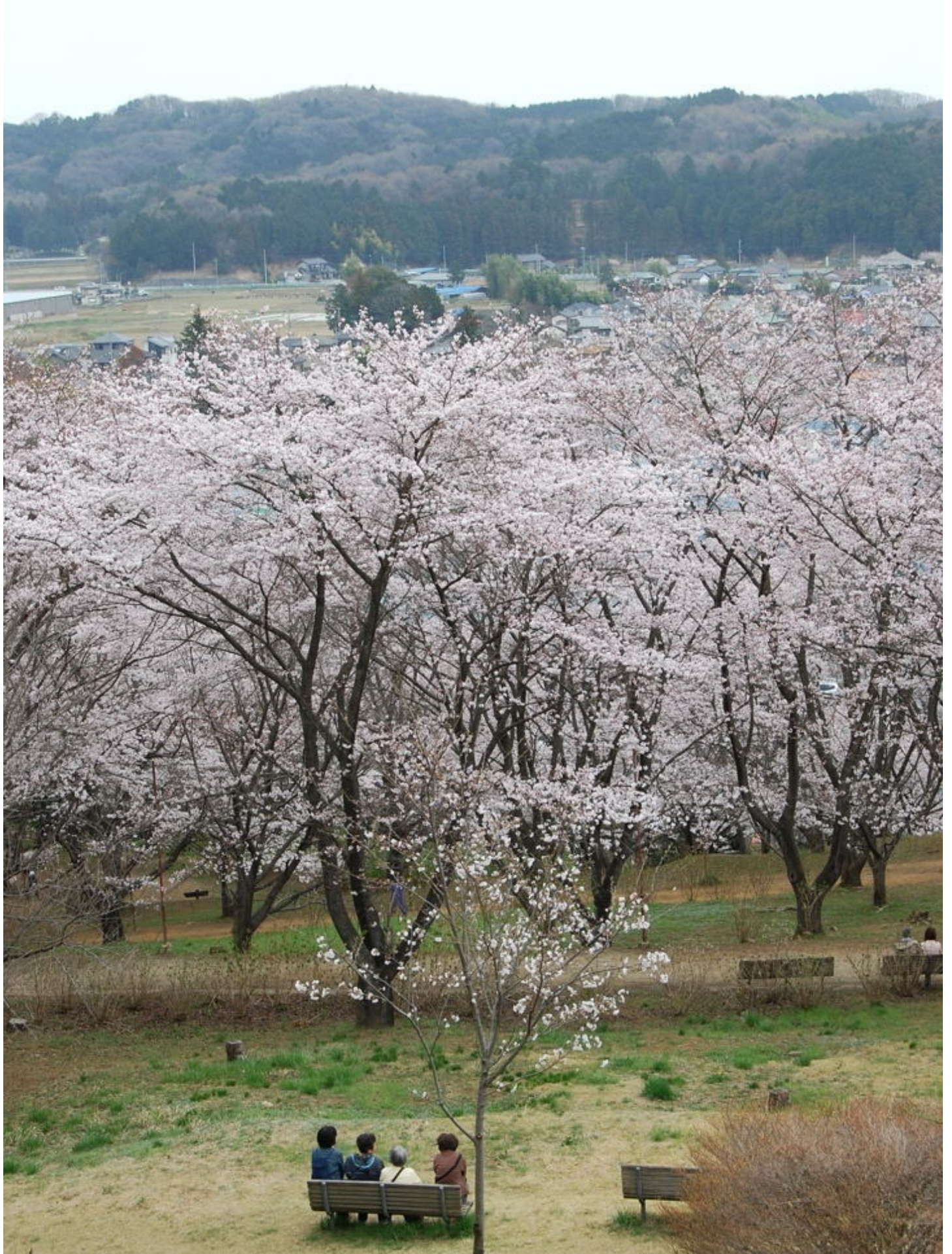




さくらの山公園



桜 (さくらの山公園)



ガクアジサイ (さくらの山公園)



世界無名戦士の墓



ふれあいの里山展望台、虚空蔵尊さくら公園



## 虚空蔵尊さくら公園 【春】

---

「虚空蔵尊さくら公園」とは、虚空蔵尊の裏山にあたる場所に主に桜を植栽した公園です。桜の名所はたいていソメイヨシノだけを沢山植えているのですが、ここではさまざまな桜の品種を初め、レンギョウ、ツツジ、アジサイなども植栽されています。桜の木はまださほど年月が経っていないようで小さな木が多いのですが品種による違いを観察することができます。またさまざまな品種があるということは花期が異なるので長い期間楽しむことができます。

※上り口がわかりづらいのでこの前を通り過ぎてふれあいの里山展望所になってしまう方もいると思います。虚空蔵尊の右横にある駐車場から登っていく斜面があるのでここに向かいます。



桜 '朱雀(シュザク)' すざくと書いてしゅざくと読ませるようです。



桜 '房桜(フサザクラ)'





桜 '花笠(ハナガサ)'



虚空蔵尊さくら公園の中腹より



ニガイチゴ』 果実は食べられるのだけれど時々苦いことがあるのでニガイチコです。モミジイ

チゴに似ていますが葉はモミジイチゴほどは切れ込みません。葉の形は花が付く茎と付かない茎では異なります。



『ニガイチゴ』 花びらはモミジイチゴより細長い。花の中央部(おしべ?)はすぼまった感じ。花は上を向いて付きます(モミジイチゴは下向き)。



桜 『手弱女(タオヤメ)』 手弱女とは、優美な(やさしい、しとやかな)女性のこと。



桜 『白妙(シロタエ)』



桜 '手鞠(テマリ)'



桜 '神代曙(ジンダイアケボノ)'



桜 'ヒメノサワザクラ'

品種の名前が書かれた名板があるのですが、木の板に墨で書いてあるだけなので文字が消えて見えなくなっている所があります。桜の品種の見分けは難しいので早めに耐久性のある名板に付け替えることが望まれます。







## ヤブカンゾウ

---



ヤブカンゾウ【薔萱草】(虚空蔵尊・6月) ヘメロカリスの仲間。一重咲きがノカンゾウ、八重咲きがヤブカンゾウです。つぼみは山菜として食べることができます。 *Hemerocallis fulva* var.

kwanso {ユリ科ワスレグサ属／多年草}



ヤブカンゾウのつぼみ



ヤブカンゾウの葉表



ヤブカンゾウの葉裏



## ニガイチゴ



**ニガイチゴ【苦苺】(虚空蔵尊さくら公園・6月)** この周辺にはニガイチゴが多く見られます。ただし園路沿いには小さな個体しか見られません。おそらく定期的に刈り取られてしまうせいでしょう。園路から外れた所には多少大きな個体があるようです。 *Rubus microphyllus* {バラ科キイチゴ属／落葉低木}



**ニガイチゴの枝、棘』** 枝は白くなる傾向がありますが、先端は緑または紫になっていることが多いようです。枝だけでなく葉柄や葉の主脈上にもトゲがあります。



**ニガイチゴの葉表』** 葉の形は三角に近い形で3つに裂けるものと、うちわ形でありあまり裂けない形があります。これは三角形の方。キイチゴの葉みたいに先端が長く伸びません。



『ニガイチゴの葉表』 これはうちわ形。少しだけ切れ込みがあります。



ニガイチゴの葉裏



ニガイチゴの葉裏

## 虚空蔵尊さくら公園 【秋】

さくら公園というぐらいだから秋には何も見るものがないと思われるかもしれませんが。実際に言ってみると桜の品種のうち紅葉がきれいなものや狂い咲きの桜などを見ることができます。カエデは虚空蔵尊のお堂の近くに数本あるだけです。頂上からは山々にあるコナラの紅葉が見れます。トイレの横に1本だけあるイチョウの巨木は見事です。



『虚空蔵尊周辺の風景』 周辺には里山の風景が広がります。標識が所々あるので見落とさないようにしましょう。



『イチョウ』 高い場所にあり遠くからでも黄金色が目立ちます。



『虚空蔵尊さくら公園登り口』 駐車場から裏山の斜面を登ります。



『修善寺紅寒桜(シュウゼンジベニカンザクラ)』 桜の紅葉は、あまりきれいな色がでないのですが、紅葉がきれいな品種です。



『大村桜(オオムラザクラ)』 これもきれいでした。



『虚空蔵尊さくら公園頂上から』 少し寂しいですが独特の味わいのある風景。コナラの紅葉が見れます。



『首なし地蔵』 誰かが折ってしまったのでしょうか頂上には首のないお地蔵さんがいらっしゃいます。







## フユイチゴ【冬苺】 (ふれあいの里山展望台への道・12月)

この周辺では、薄暗い林床でよく見かけます。薄暗い中、真っ赤な実がなっているようすは少しブキミです。おそらくは上に伸びることができないので光を奪い合う競争を避けて、薄暗く養分の少ない針葉樹の林床に適合したのだと思います。 花期は9～10月 *Rubus buergeri* {バラ科 キイチゴ属／つる性常緑小低木}



『フユイチゴの実』 名前の由来は、冬に赤い実が目立つから。花は秋に咲きます。ちなみにこの実は食べられます。



『フユイチゴの葉』 実は葉の下に隠れていることがあるので葉の形を覚えてめくってみましょう



。茎にトゲのある場合があるので注意してください。

ゆうぱパークおごせ





『山吹の里』 下の方には水車小屋、売店(ソバ、ラムネの販売)があり園内全体にはヤマブキが植栽されています。展望所まで登る斜面にもヤマブキがあり、頂上からは越生駅方面の眺望が楽しめます。ヤマブキの見ごろは4月中旬です。



『ヤマブキ』 ヤマブキは何種類かの品種が混合で植栽されています。これは八重咲き。



水車小屋



山吹の里 階段』 展望所に行く階段は少し急ですが展望所までの距離は短いのですぐつきます

。



山吹の里 展望所』 展望所には越生駅方面のみ展望があり、あずまやがあります。



ヒメコウゾ 雄花と雌花』 クリーム色の方(左)が雄花、赤紫色のポンポンみたいな(右)が雌花です。カジノキ、コウゾ、ヒメコウゾは良く似ていますが、カジノキは雌雄異株なので除外できます。コウゾとヒメコウゾの見分けは難しいです(この写真はコウゾかもしれない)。



『ヒメコウゾの葉』 カジノキ、コウゾ、ヒメコウゾは葉の形の変異が大きく悩まされます。



『越辺川散策路』 山吹の里のすぐ前、川のほとりに自然観察ができる散策路があります。川原には野原や森林とは異なった、湿り気を好む植物が生育しています。ここによっていきましょう。



『ヒメジョオン』 1865年ごろ観賞用に導入されたのがきっかけで帰化しました。名前の由来は中国の植物「女苑(じょおん)」にちなみます。 **外来生物法要注意種**





『ヒメジョオン 花アップ』 花を見ていると、もともと園芸植物であったのもうなづけます。園芸品種「エリゲロン」の仲間です。



『ヒメジョオンの葉腋』 ハルジオンとヒメジョオンの見分けは葉の付き方または茎の断面を見ます。ハルジオンは葉が茎を抱き(葉柄がなく茎のまわりを葉が取り囲む)、茎の断面が中空。ヒメジョオンは抱かない、茎の断面に髓がつまっている。



『オヘビイチゴ』 ヘビイチゴに似ていてそれより大きいので「雄蛇莓」です。分類的にはヘビイチゴのなかまではなくキジムシロの仲間になります。



『オヘビイチゴの葉』 花だけを見ているとヘビイチゴ、キジムシロの仲間は似ています。しかしこの種は葉が「5小葉(5枚の葉がセットになっている)」なので見分けが簡単です。



『セリバヒエンソウ』 明治時代に帰化した植物です。比較的新しい時代にやってきたので図鑑にあまりのっていないことが多いです。名前の由来は、花がツバメの飛んでいる姿に似ていて、葉がセリに似ているから「芹葉飛燕草」。



『セリバヒエンソウ 花の後』 花の後ろの「距(きょ)」に特徴があります。園芸植物のデルフィニウムの仲間です。







セリバヒエンソウの葉



『オニグルミの雄花』 長い毛虫みたいのがぶらさがっていますが、これが「雄花」です。上の方に赤い小さな雌花があるはずですが葉っぱに隠れて見えません。市販のクルミ(シナノグルミ)とは近縁で、オニグルミの実(仁)は食べることができます。



『オニグルミの幹』 樹木の観察では幹の模様(樹皮)を覚えましょう。高木では葉っぱや花がまじかで見れないことがあるからです。



越辺川散策路(自然ふれあいゾーン)



『オランダガラシ(クレソン)』 もともと日本に住んでいた植物ではないのですが、繁殖力が強く日本の川原で野生化しています。サラダまたは肉料理の付け合せに使われます。[要注意外来生物]



オランダガラシの葉



『オオカワジシャ』 花を良く見るとオオイヌノフグリににています(同じクワガタソウ属)。在来種:  
カワジシャへの影響があるので **特定外来生物**に指定されています。



『オオカワジシャの葉』 カワヂシャの葉ははっきりした鋸歯があるが、オオカワヂシャは全縁に近いです。



『クサフジ』 似たような花にクサフジ、ナヨクサフジ、ツルフジバカマがあります。ツルフジバ  
カマの花期は、夏の終わりから秋なので除外できます。小葉の先端の尖りぐあいなども手がかり  
になります。





クサフジ 花横』 見分けは花びらの基部(ガクから出ている所から折れ曲がった所まで)Aと花びらの折れ曲がった先Bの比率を見ます。同じぐらいならばクサフジ、1.5~2倍ぐらいならばナヨクサフジです。

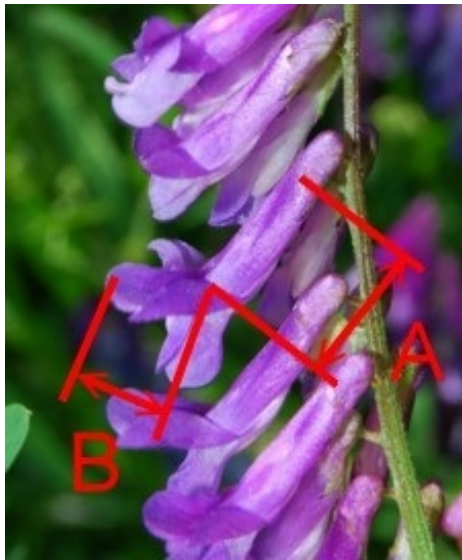


クサフジの葉』 ナヨクサフジの小葉の先端はもっと尖っています。



ナヨクサフジ』 クサフジに似ていて細っこいので「弱草藤」





ナヨクサフジの花横』

このぐらいならナヨクサフジだと思うのですがいかがでしょうか？

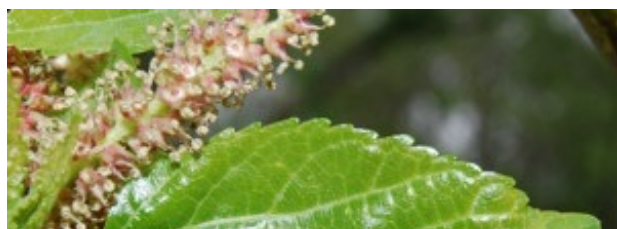


エノキの実



マグワの雄花』

先端に丸い葯がついているのが雄花です。普通は黄色～黄緑のはずですかこの個体はやけに赤かったです。





『マグワの葉』 桑の葉も変異が大きいです。



マグワの幹



『アカバナユウゲショウ』 明治時代に園芸植物として導入されましたが、それが野生化してしまいました。名前の由来は、夕方から花が咲くので「夕化粧」。オシロイバナのことをユウゲショウと呼ぶことがあり、区別するためアカバナを付けています。実際にはお昼ごろでも咲いています。マツヨイグサ、ツキミソウの仲間です。





越辺川散策路(自然ふれいあいゾーン)



越辺川散策路(観察広場)



越辺川散策路(親水広場)』

山の中腹に見えるの白い建物が「世界無名戦士の墓」です。鉄橋は八高線です。



越辺川散策路(眺望ゾーン)



越辺川散策路(川原ゾーン)』 昔の子どもは川原で遊んだものですが、最近は柵で囲って立ち入り禁止にしている場所がほとんどです。おそらく事故があると責任問題になるからということなのでしょう。お金を必要としない、体を動かす遊び、自然と触れ合う遊びは現代っ子には必要ではないでしょうか？ここは水際まで降りて遊ぶことができます。







オヘビイチゴ



『**キツネノボタン**』 実の形がトゲトゲ棍棒になります。名前の由来は、葉の形が牡丹(服につけるボタンではない)に似ていて、毒があるから。毒を持つ植物にキツネをつけることが多いそうです。茎などに毛の多い種類はケキツネノボタンと呼ばれます。



越辺川散策路(梅の木広場)



ネムノキ(越辺川散策路・11月) 葉が落葉してしまうと豆果が目立ちます。



スズメウリの実(越辺川散策路・11月) 初めは緑色で熟すと白色になります。



スズメウリの実(越辺川散策路・11月) 触ってみるとやわらかく、中は水っぽいです。



## マルバヤナギ【丸葉柳】 (越辺川自然散策路・11月)

この木はシンボル・ツリー的な存在です。幼木は川原のあちこちで見かけますが10mぐらいまで大きく育った木は少ないです。環境変動の大きい川原に生息する木なので生き残るのは難しいの  
でしょう。 別名:アカメヤナギ 花期は5月 *Salix chaenomeloides* {ヤナギ科ヤナギ属／落葉  
高木}



『マルバヤナギのシュート』 マルバヤナギの名前の由来は、ヤナギの仲間で葉の幅が広いこと  
ですが、この個体はずいぶん長細い葉をしています。葉の形には変異が大きいそうなのでこれもマ  
ルバヤナギだと思います。



『マルバヤナギの托葉』 マルバヤナギの特徴は、丸い形の托葉と腺が多いことです。托葉は据齒

ありの半月が2つ重なって円形に見えます。托葉は時間の経過に伴い脱落してしまうので成木では新しい枝にしか見られません。若い枝の色は赤みを帯びますが古い枝では黄土色になります。



**マルバヤナギの幼木』** このような低木状になっているものは多く見かけます。これが10mを超える大木になるとはイメージしにくいです。



**マルバヤナギの托葉』** 幼木では枝の赤みが強く、腺が目立ちます。腺とは据歯の先、托葉のふち、葉柄の途中にある付属体などにある丸っこい部分です。



**マルバヤナギの葉柄、腺』** 葉柄の途中に小さな葉っぱみたいなものがあります。ルーペで見ないと良く分からないかも知れません。幼木では腺が赤くなるので目立ちます。



マルバヤナギ(越辺川自然散策路・12月)



マルバヤナギの幹(越辺川自然散策路・12月)



マルバヤナギの冬芽(越辺川自然散策路・12月)



ネコヤナギの狂い咲き【猫柳】(越辺川・11月)

*Salix gracilistyla* {ヤナギ科ヤナギ属 / 落葉低木}



『ネコヤナギ』 マルバヤナギが大木になるのに対して高さは1~5mとあまり大きくならない。



ネコヤナギの枝と托葉』 若い枝は少し赤みを帯び、やわらかい毛が生えている。托葉に特徴がある。



ネコヤナギの葉表』 振幅の小さな据歯があり、互生。



ネコヤナギの葉裏』 白っぽい、葉脈上に毛がある。





ネコヤナギの冬芽(越辺川・12月)



## アメリカキササゲ【アメリカ木大角豆】 (越辺川自然散

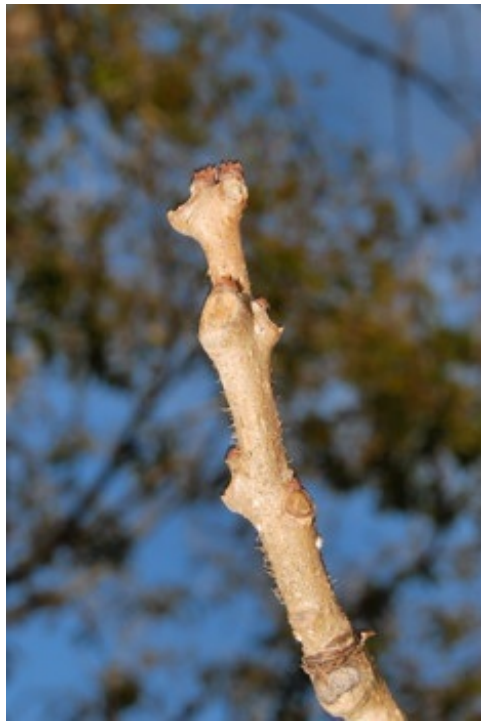
策路・11月)

葉っぱは枯れてしまって形が良く分りませんが、棒状のものが沢山ぶらさがっています。

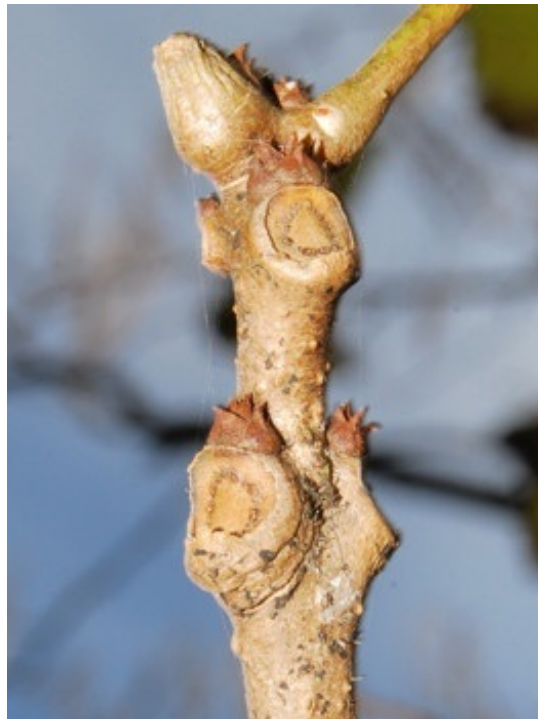
*Catalpa bignonioides* {ノウゼンカズラ科キササゲ属／落葉高木}



『アメリカキササゲの実』 実を手にとって見ると豆果ではないことが分ります。



アメリカカキササゲの冬芽



アメリカカキササゲの冬芽



アメリカキササゲの幹



## エノキ【榎】 (越辺川自然散策路・11月)

この季節は黄葉と熟した実が見れます。黒く丸いものが沢山なっていました。エノキ茸は、エノキに良く発生するのが名前の由来です。もっとも私たちが食べているエノキ茸は米ぬかと栄養剤をビンに詰めて栽培していますが... *Celtis sinensis* {ニレ科エノキ属／落葉高木}



『エノキのシュート』 エノキはふつう濃い黄色になります。たしか橙色になることもあったと思います。葉の付き方は互生。



『エノキの落ち葉』 葉の基部の方にはほとんど鋸歯はありません。葉の先端の方に振幅の低い鋸歯があります。葉の長さは4～9cmと小さめ。



## アレチウリ【荒れ地瓜】 (越辺川自然散策路・10月)

繁殖力が強く根から再生することから、まわりの在来種に影響があるとして、2006年に特定外来生物に指定されました。特定外来生物というのは法律で飼育・栽培・移動・販売・投棄が禁止されている生物のことです。罰金も設定されています。花期は8～9月 *Sicyos angulatus* {ウリ科アレチウリ属／つる性一年草}



『アレチウリの雄花』 雄花は高い所に掲げているので見つけやすいのですが、雌花は下の方(葉っぱの下とか)にあるので見つけにくいです。



アレチウリの実』 下の方を探すとトゲ(剛毛?)がたくさん生えた実が見つかります。



アレチウリの葉裏』 5つに裂けた大きな葉っぱ





ワルナスビ【悪茄子】 (越辺川・11月)

*Solanum carolinense* {ナス科ナス属／多年草}



『ワルナスビの実』 大きな実。アメリカイヌホオズキの実と比べると2倍ぐらいあるでしょうか？  
若い実は緑色、熟すと黄色くなります。トマトの仲間なので見た目が似ていますが有毒です。



ワルナスビの実



ワルナスビの葉表』 先端が丸く荒い鋸歯、葉脈上のトゲが特徴。

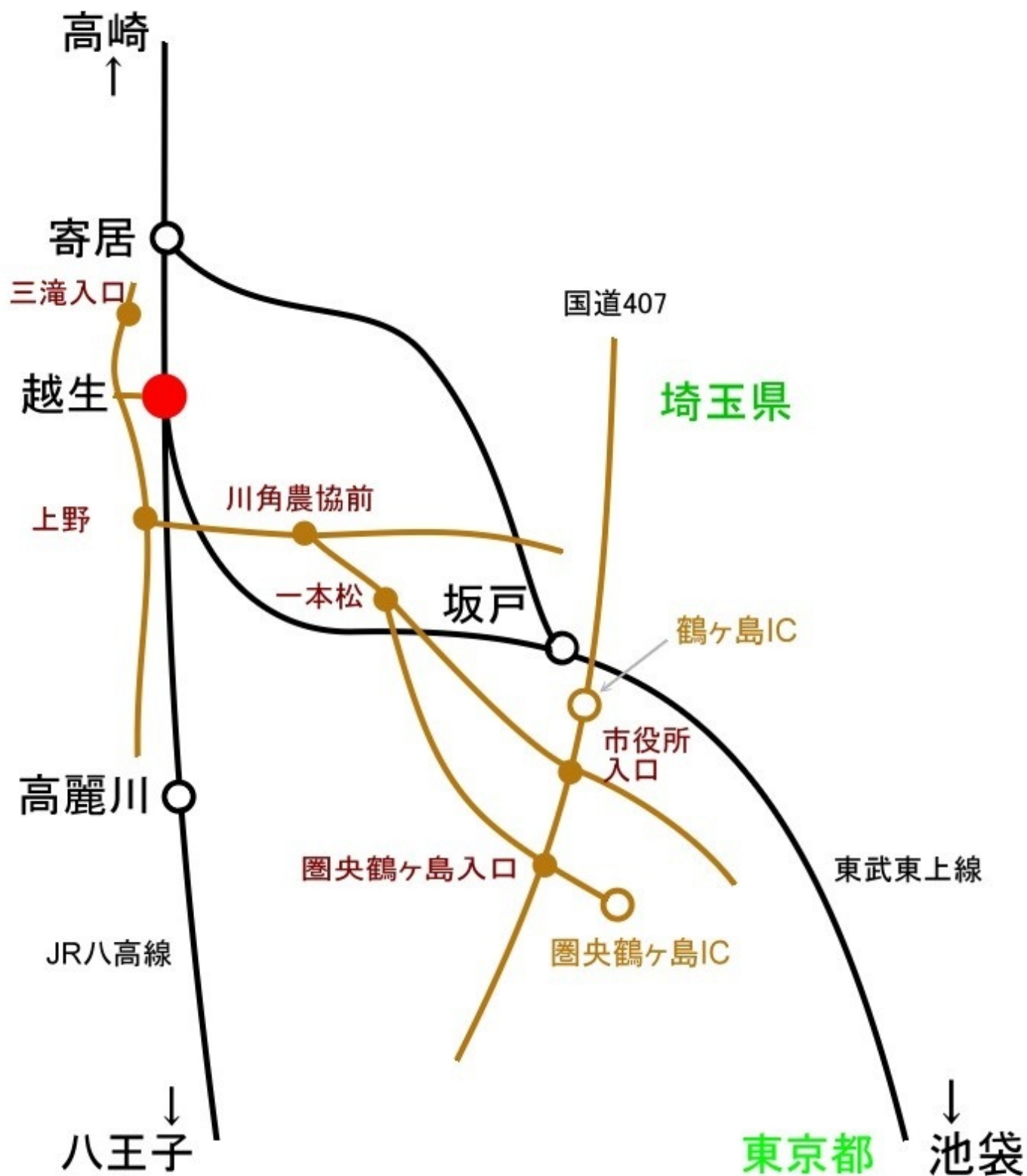


ワルナスビの葉裏



ワルナスビのトゲ』 葉の両面、主脈上に針のような長いトゲがあります。

# 越生駅までの交通



## 電車の場合

JR八高線 八王子→高麗川(乗り換え)→越生駅 (1時間5分)

JR八高線 高崎駅→越生駅 (1時間10分)

東武東上線 池袋→坂戸(乗り換え)→越生駅 (1時間13分)

自家用車の場合

関越自動車道の「鶴ヶ島IC」、または圏央道の「圏央鶴ヶ島IC」より。

# 越生梅林・ふれあいの里山ハイキングガイド

<http://p.booklog.jp/book/21031>

著者：なぎ

著者のweb <http://homepage1.nifty.com/x6/>

私が書いた書籍

[逆引き電子回路図集](#) 秀和システム/ISBN:978-4-7980-2605-3/A5 2色272ページ/2,625円(税込)

[電子部品図鑑](#) 誠文堂新光社/ISBN：978-4-416-10701-0/B5変形/256ページ/ 3,150 円(税込)

発行所：ブックログのパブー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社paperboy&co.

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/21031>

ブックログのパブー本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/21031>

| [総目次\(ホーム\)](#) | [さいたま緑の森博物館](#) | [飯能川原と天覧山](#) | [吉見百穴と川幅日本一](#) | [カタクリと見晴らしの丘公園](#) | [越生梅林・ふれあいの里山](#) | [森林公園・春](#) | [春\(無料版\)](#) | [森林公園・夏](#) | [森林公園・秋](#) | [秋\(無料版\)](#) | [森林公園・冬](#) | [森林公園・もみじ見ナイト](#) | [天神山・鐘撞堂山](#) | [高麗川・巾着田](#) | [高麗川ふるさと遊歩道](#) |

| [電子工作](#) | [開発用言語](#) | [開発ツール](#) | [風景写真](#) | [ミクロの世界](#) | [製品](#) | [料理](#) | [パンク修理](#) |

| [\(7\)インフォメーション](#) | [\(8\)個人情報の取り扱い](#) | [\(9\)写真の問い合わせ](#) |